

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 30	
企画名	1人1台ポケットエコーはスマホの如く ～Pocket-echo life support (PELS) 教育コースの開催～
日時	2016年6月12日(日) 13:30～15:00
会場	第13会場 (台東区民会館 9階 ホール(2))
企画責任者	小林只 (弘前大学医学部附属病院 総合診療部 助手)
定員	72名
開催の目的・概要	
<p><b>【開催の目的】</b></p> <p>パソコン機器が「デスクトップ→ノートパソコン→スマートフォン(スマホ)」と進歩し、あなたが生活で自然と使い分けているように、エコーも「検査室の設置型→外来の移動式→ポケットエコー」と同じ道を進んでいる。スマホの如く、誰もが1人1台使う道具としてのポケットエコーの使い方は「その場で手軽にちょっと確認」である。エコーは、薬事法上は体温計や血圧計と同じ分類である。しかも、小型・安価・高精度の機器開発も伴い、看護師・技師・療法士・鍼灸師・一般人にも「既に」使用される大衆医療機器になった。</p> <p>今回は、病棟から在宅・院外を想定した、看護師などエコー初心者でも即役立つ使い方(例:プローブの持ち方、膀胱エコーによる高齢者の夜間転倒減少・補液速度調整など)をヘルスケア人材育成協会認証のメディカル・スタッフのためのエコー教育コース(Pocket-Echo Life Support:PELS)の形式で、実際に教育用のテキスト、シミュレータ、エコー(数人に1台以上準備予定)を用いて実施する。</p>	
<p><b>【概要】</b></p> <p><u>主な対象者：看護師(優先)、医師、介護士など。エコーを初めて触る方でも大丈夫です。</u></p> <p>当日のスケジュールは以下を予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 全体講義：PELS教育コースの紹介</li><li>2) 実技1：シミュレータの説明・エコーの操作方法</li><li>3) 実技2：シミュレータを使った症例疑似体験と教育コースの体験(膀胱エコーによる臨床アセスメント)</li><li>4) まとめ</li></ol>	